

地域公共交通網形成計画

交通弱者等の移動手段の確保は

関係機関等と連携し検討を進める

山田の海を守る会の活動は

活動内容を協議・検討

問 12月定例会において、町地域公共交通網形成計画について質問した。その際、交通弱者や高齢者の移動手段の確保は重要な課題と捉えているので具体的に検討していくとの回答を得た。その後の公共交通網形成計画策定について説明せよ。

佐藤町長 本年3月に策定した地域公共交通網形成計画は、公共交通網を広域路線とまちなか循環

線、町内路線、交通・交流拠点によって結ばれるネットワークの実現を推進する計画として策定した。交通弱者や高齢者の移動手段の確保は重要課題と捉えており、今年度から計画に基づき、まちなか循環バスの運行や患者輸送バスのコミュニケーションバス化、デマンド型交通など、具体的な検討を関係機関等と連携して進めていく。

問 山田の海を守る会の活動が休止状態となつて久しい。今こそ山田町の海を守るための活動が町民から期待されていると思うが、海を守る会について、海を守る推進事業も含めて、今後どのような考えているのか伺う。

町長 山田の海を守る会は、町内の各団体の賛助金と町からの負担金を主な財源として運営しており、現在は休止状態であるが、町としても活動再開の必要性については認識している。また、海を守る推進事業として、山

田湾・船越湾の水質調査、小学生が河川で行う水生生物の生息状況調査などについては、震災後も継続して実施しており、今後は賛助金の在り方や活動内容などについて関係機関と協議・検討していく。

問 海の生態系にとって脅威なのは海洋汚染であり、有害物質を海洋生物が食べて蓄積されるマイクロプラスチックが世界的に大問題となつている。海洋汚染防止のためには、我々住民も自分たちの地域は自分たちで守

る活動をしなければならぬ。日々のごみ分別、マイバックを持つ等、山田の海を守るため陸のモラルが大事だと思う。海を守るための所見を伺う。

佐々木町民課長 まずは山田町環境衛生実践会の各地区の活動再開に向け

た支援をしていきたい。また、海を守る前提として陸上の環境浄化が必要であり、マイクロプラスチックの問題も含めたごみの減量化を進め、その活動がひいては山田の海を守ることに繋がっていくと考えている。



山田の海を守るため陸上の環境整備を



吉川 淑子 議員

(新 生 会)